

10/19/41

DIALOG(R)File 347:JAPIO

(c) 2004 JPO & JAPIO. All rts. reserv

04258683 **Image available**

BLOOD DONATION APPLICATION FORM ISSUE SYSTEM

PUB. NO.: 05-250383 [JP 5250383 A]
PUBLISHED: September 28, 1993 (19930928)
INVENTOR(s): KAWAGUCHI TORU
APPLICANT(s): NEC CORP [000423] (A Japanese Company or Corporation), JP
(Japan)
APPL. NO.: 04-083355 [JP 9283355]
FILED: March 05, 1992 (19920305)
INTL CLASS: [5] G06F-015/21
JAPIO CLASS: 45.4 (INFORMATION PROCESSING -- Computer Applications);
28.2
(SANITATION -- Medical)
JAPIO KEYWORD: R131 (INFORMATION PROCESSING -- Microcomputers &
Microprocessors)
JOURNAL: Section: P, Section No. 1672, Vol. 18, No. 14, Pg. 4,
January
11, 1994 (19940111)

ABSTRACT

PURPOSE: To easily issue a blood donation application form wherein data are entered as much as possible even when blood is collected on a mobile blood collection vehicle.

CONSTITUTION: A data transfer control means (external storage control part 103, keyboard 105, CPU 106, transfer control part 114, and main memory 115) extracts data regarding a blood donor corresponding to a blood collection place out of blood donor data master files (blood donor master file 101, blood collection history master file 102, and address master file 103), edits the data in the format of the donor file 201, and transfers the data to an on-vehicle terminal equipment 2. A blood donation application form issuing means (external storage control part 203, keyboard 204, CRT display device 205, CPU 206, main memory 215, transfer control part 216, printing control part 217, and printing part 218) issues the blood donation application form wherein data are entered as much as possible according to the blood donor file 102 and a application form layout file 202.

DW
2092

This Page Blank (uspto)

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-250383

(43)公開日 平成5年(1993)9月28日

(51)IntCl.⁵

G 0 6 F 15/21

識別記号

庁内整理番号

Z 7925-5L

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全12頁)

(21)出願番号 特願平4-83355

(22)出願日 平成4年(1992)3月5日

(71)出願人 000004237

日本電気株式会社

東京都港区芝五丁目7番1号

(72)発明者 川口 亨

東京都港区芝五丁目7番1号 日本電気株式会社内

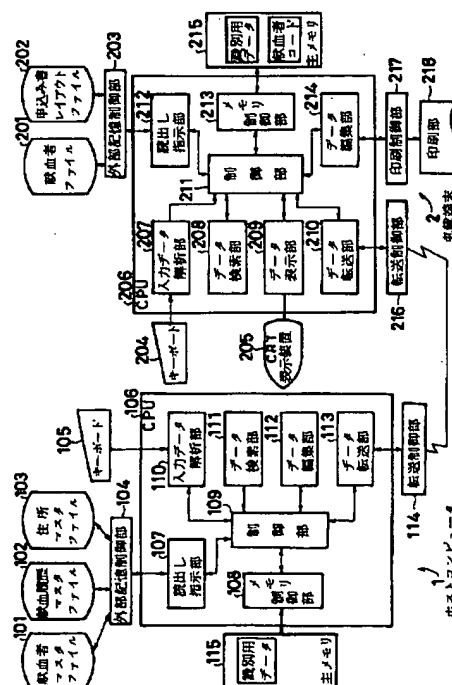
(74)代理人 弁理士 河原 純一

(54)【発明の名称】 献血申込み書発行方式

(57)【要約】

【目的】 移動採血車により採血が行われる場合にも、可能な限りデータが記入された献血申込み書を簡単に発行することを可能にする。

【構成】 データ転送制御手段(外部記憶制御部104、キーボード105、CPU106、転送制御部114および主メモリ115)は、採血場所に応じた献血者に関するデータを献血者データマスタファイル(献血者マスタファイル101、献血履歴マスタファイル102および住所マスタファイル103)から抽出し、献血者ファイル201の形式に編集して車載端末2に転送する。献血申込み書発行手段(外部記憶制御部203、キーボード204、CRT表示装置205、CPU206、主メモリ215、転送制御部216、印刷制御部217および印刷部218)は、献血者ファイル201と申込み書レイアウトファイル202とに基づき、可能な限りデータが記入された献血申込み書を発行する。



DW
1092

【特許請求の範囲】

【請求項1】 献血者を特定する情報、献血者の献血履歴を示す情報および献血者の住所を示す情報等の献血者に関するデータを格納するホストコンピュータ内の献血者データマスタファイルと、
採血場所に応じた献血者に関するデータを格納する車載端末内の献血者ファイルと、
献血申込み書の固定項目のレイアウトを示すデータを格納する車載端末内の申込み書レイアウトファイルと、
採血場所に応じた献血者に関するデータを前記献血者データマスタファイルから抽出し前記献血者ファイルに適合するように編集して車載端末に転送するホストコンピュータ内のデータ転送制御手段と、
採血時に献血者が既登録者であるか否かを判定し前記献血者ファイル内の既登録者に係る献血者に関するデータと前記申込み書レイアウトファイル内のレイアウトを示すデータとに基づいてデータが記入された献血申込み書を発行する車載端末内の献血申込み書発行手段とを有することを特徴とする献血申込み書発行方式。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は献血申込み書発行方式に関し、特に移動採血車によって採血が行われる際に献血申込み書を発行する献血申込み書発行方式に関する。

【0002】

【従来の技術】献血者に関するデータを有するホストコンピュータの存在する場所（献血センタ等）で採血が行われる場合には、当該場所に設置されている端末から献血者に関するデータ（前回検査履歴等の献血履歴を示す情報）が記入された献血申込み書（採血に際して献血者に発行され献血者が献血センタ等に提出する申込み書）が発行されている。献血者はその記入を確認するだけでその献血申込み書を提出することができ、これにより献血受け業務を効率的に行うことが可能になっている。

【0003】しかし、移動採血車によってホストコンピュータの存在する場所以外の採血場所で採血が行われる場合（図8参照）には、そのような態様で献血申込み書を発行することはできない。

【0004】従来の移動採血車により採血が行われる際における献血申込み書発行方式の第1の方式では、献血者に関するデータが記入されていない献血申込み書が発行されており、記入項目の全てについて献血者によるデータの記入が行われていた。

【0005】また、従来のこの種の献血申込み書発行方式の第2の方式では、移動採血車に車載端末が設置され、その車載端末によって献血者に関するデータの存在するホストコンピュータ内の献血者マスタファイル等が参照され、その参照によって取得された献血者に関するデータが記入された献血申込み書が発行されていた。ここで、献血者マスタファイル等を参照する方法として

は、電話回線（公衆回線）による方法や無線による方法が存在した。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】上述した従来の献血申込み書発行方式の第1の方式では、献血者に関するデータが全く記入されていない献血申込み書が発行されており、献血申込み書に対する記入が献血者による手作業で行われているので、献血申込み書に対する記入ミスが発生しやすく、移動採血車が献血センタ等に帰った後に献血者によって記入された献血申込み書に関するデータを改めてホストコンピュータに入力する手間が必要になるという欠点があった。

【0007】また、上述した従来の献血申込み書発行方式の第2の方式では、移動採血車上の車載端末によってホストコンピュータ内の献血者マスタファイル等が参照される際に電話回線や無線が使用されているので、費用や時間の面で各種の問題点が存在していた。すなわち、電話回線が使用される場合には、移動採血車の移動先の採血場所が献血センタ等から遠隔の地であるときに、回線使用のための費用が多くなるという欠点があった。また、無線が使用される場合には、移動採血車の移動先の採血場所が山間部等であるときに、その地形等の環境に影響されてホストコンピュータと通信することが不能になったり長時間を要したりするという欠点があった。

【0008】本発明の目的は、上述の点に鑑み、移動採血車により採血が行われる場合にも、可能な限りデータが記入された献血申込み書を簡単に発行することを可能にし、移動採血車による採血が行われる際の献血受け業務の効率化を達成することができる献血申込み書発行方式を提供することにある。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明の献血申込み書発行方式は、献血者を特定する情報、献血者の献血履歴を示す情報および献血者の住所を示す情報等の献血者に関するデータを格納するホストコンピュータ内の献血者データマスタファイルと、採血場所に応じた献血者に関するデータを格納する車載端末内の献血者ファイルと、献血申込み書の固定項目のレイアウトを示すデータを格納する車載端末内の申込み書レイアウトファイルと、採血場所に応じた献血者に関するデータを前記献血者データマスタファイルから抽出し前記献血者ファイルに適合するように編集して車載端末に転送するホストコンピュータ内のデータ転送制御手段と、採血時に献血者が既登録者であるか否かを判定し前記献血者ファイル内の既登録者に係る献血者に関するデータと前記申込み書レイアウトファイル内のレイアウトを示すデータとに基づいてデータが記入された献血申込み書を発行する車載端末内の献血申込み書発行手段とを有する。

【0010】

【作用】本発明の献血申込み書発行方式では、ホストコ

ンピュータ内の献血者データマスタファイルが献血者を特定する情報、献血者の献血履歴を示す情報および献血者の住所を示す情報等の献血者に関するデータを格納し、車載端末内の献血者ファイルが採血場所に応じた献血者に関するデータを格納し、車載端末内の申込み書レイアウトファイルが献血申込み書の固定項目のレイアウトを示すデータを格納し、ホストコンピュータ内のデータ転送制御手段が採血場所に応じた献血者に関するデータを献血者データマスタファイルから抽出し献血者ファイルに適合するように編集して車載端末に転送し、車載端末内の献血申込み書発行手段が採血時に献血者が既登録者であるか否かを判定し献血者ファイル内の既登録者に係る献血者に関するデータと申込み書レイアウトファイル内のレイアウトを示すデータとに基づいてデータが記入された献血申込み書を発行する。

【0011】

【実施例】次に、本発明について図面を参照して詳細に説明する。

【0012】図1は、本発明の献血申込み書発行方式の一実施例の構成を示すブロック図である。本実施例の献血申込み書発行方式は、ホストコンピュータ1と、車載端末2とを含んで構成されている。

【0013】ホストコンピュータ1は、献血者を特定する情報を格納する献血者マスタファイル101と、献血者の献血履歴を示す情報を格納する献血履歴マスタファイル102と、献血者の住所を示す情報を格納する住所マスタファイル103と、献血者マスタファイル101、献血履歴マスタファイル102および住所マスタファイル103に対するデータのリード/ライトを行う外部記憶制御部104と、キーボード105と、CPU (Central Processing Unit) 106と、車載端末2との間のデータの転送を制御する転送制御部114と、車載端末2に転送すべき献血者に関するデータを抽出するための識別用データ (抽出条件) を格納する主メモリ115とを含んで構成されている。なお、献血者マスタファイル101、献血履歴マスタファイル102および住所マスタファイル103の3つのファイルによって、献血者を特定する情報、献血者の献血履歴を示す情報および献血者の住所を示す情報等の献血者に関するデータを格納する献血者データマスタファイルが実現されている (献血者マスタファイル101、献血履歴マスタファイル102および住所マスタファイル103は、例えば磁気ディスク装置上に実現される)。

【0014】CPU106は、車載端末2に転送すべき献血者に関するデータを抽出するために必要な各種の制御を行うものであって、献血者に関するデータを採血場所 (地域または職場・団体等) を示す抽出条件により抽出し転送制御部114を介して車載端末2に転送するための制御を行うものである。CPU106は、外部記憶

制御部104に対して献血者マスタファイル101等の読出し指示を行う読出し指示部107と、主メモリ115に対するアクセスを行うメモリ制御部108と、CPU106における制御を実現するための統括的な制御を行う制御部109と、キーボード105から入力されるデータ (抽出条件等) を解析する入力データ解析部110と、抽出条件を満たすデータの検索を行うデータ検索部111と、抽出後のデータ (献血者に関するデータ) を車載端末2用に編集し加工するデータ編集部112と、車載端末2に転送すべきデータ (車載端末2用に編集された献血者に関するデータ) を転送制御部114に渡すデータ転送部113とを含んで構成されている。なお、CPU106と外部記憶制御部104、キーボード105、転送制御部114および主メモリ115とによって、データ転送制御手段が実現されている。

【0015】車載端末2は、車載端末2を搭載している移動採血者の移動先の献血場所に応じた献血者に関するデータ (抽出条件を満たす献血者に関するデータであり、献血場所の地域または職場・団体等に属している献血者に関するデータ) を格納する献血者ファイル201と、献血申込み書の固定項目のレイアウトを示すデータを格納する申込み書レイアウトファイル202と、献血者ファイル201および申込み書レイアウトファイル202に対するデータのリード/ライトを行う外部記憶制御部203と、キーボード204と、CRT (Cathode Ray Tube) 表示装置205と、CPU206と、献血申込み書の発行対象の献血者を特定するための識別用データおよび未使用の献血者コードを格納する主メモリ215と、ホストコンピュータ1との間のデータの転送を制御する転送制御部216と、印刷部218に対する印刷を制御する印刷制御部217と、献血申込み書を印刷する印刷部218とを含んで構成されている (献血者ファイル201および申込み書レイアウトファイル202は、例えば磁気ディスク装置上に実現される)。

【0016】CPU206は、献血申込み書の発行を行うために必要な各種の制御を行うものであって、献血者の献血者コード、氏名、生年月日および性別等に基づいて献血申込み書の自動発行の制御を行うものである。CPU206は、キーボード204から入力されたデータを解析する入力データ解析部207と、入力データ解析部207によって解析されたデータにより献血者ファイル201を検索するデータ検索部208と、作業等に対してデータを表示するデータ表示部209と、献血者ファイル201内のデータ (献血者に関するデータ) をホストコンピュータ1に転送するために転送制御部216に渡すデータ転送部210と、CPU206における制御を実現するための統括的な制御を行う制御部211と、外部記憶制御部203に対して献血者ファイル201等の読出し指示を行う読出し指示部212と、主メモ

リ215に対するアクセスを行うメモリ制御部213と、献血者に関するデータを献血申込み書に記入すべきデータとして編集し加工するデータ編集部214とを含んで構成されている。なお、CPU206と外部記憶制御部203、キーボード204、CRT表示装置205、主メモリ215、転送制御部216、印刷制御部217および印刷部218とによって、献血申込み書発行手段が実現されている。

【0017】図2は、ホストコンピュータ1内の献血者マスタファイル101の構成を示す図である。献血者マスタファイル101は、献血者毎の献血者に関するデータの基本情報（献血者を特定する情報）を格納しているファイルであって、氏名、性別、生年月日、献血者コード、住所コード、住所肩書き、団体コードおよび既献血回数等のデータを格納している。

【0018】図3は、ホストコンピュータ1内の献血履歴マスタファイル102の構成を示す図である。献血履歴マスタファイル102は、献血者の献血履歴を示す情報を格納しているファイルであって、献血者コード、前回検査履歴（前回献血日および前回検査結果）、前々回検査履歴および過去の検査履歴等のデータを格納している。

【0019】図4は、ホストコンピュータ1内の住所マスタファイル103の構成を示す図である。住所マスタファイル103は、移動採血車（すなわち、車載端末2）の移動先の献血場所に応じた献血者（すなわち、その献血者に関するデータ）を抽出するために使用されるファイルであり、住所コード、住所読みおよび郵便番号等のデータを格納している。

【0020】図5は、車載端末2内の献血者ファイル201の構成を示す図である。献血者ファイル201は、車載端末2において献血者に関するデータを格納しているファイルであって、氏名、性別、生年月日、献血者コード、住所コード、住所肩書き、団体コード、既献血回数および前回献血履歴等のデータを格納している。

【0021】図6は、ホストコンピュータ1側で行われる献血者抽出処理（車載端末2に転送すべき献血者に関するデータを抽出する処理）を示す流れ図である。この処理は、抽出条件入力ステップ601と、抽出条件判定ステップ602と、団体コード読出しキー設定ステップ603と、抽出条件郵便番号判定ステップ604と、郵便番号読出しキー設定ステップ605と、住所コード取得ステップ606と、住所コード読出しキー設定ステップ607と、献血者マスタファイル読出しステップ608と、献血者マスタファイル終了判定ステップ609と、献血者コード読出しキー設定ステップ610と、献血履歴マスタファイル読出しステップ611と、献血者ファイル用データ編集ステップ612と、データ転送ステップ613とからなる。

【0022】図7は、車載端末2側で行われる献血申込

み書発行処理を示す流れ図である。この処理は、氏名等入力ステップ701と、献血者ファイルアクセスステップ702と、既登録者判定ステップ703と、前回検査履歴等表示ステップ704と、住所等入力ステップ705と、献血者コード払出しステップ706と、画面確認ステップ707と、献血申込み書レイアウト読出しステップ708と、献血申込み書データ編集ステップ709と、献血申込み書印刷ステップ710とからなる。

【0023】図8は、移動採血車がホストコンピュータ1の存在する場所（献血センタ等）から移動先の採血場所に移動する態様を示す図である。

【0024】次に、このように構成された本実施例の献血申込み書発行方式の動作について説明する。

【0025】第1に、図8に示すような態様で移動採血車が採血場所に移動する際に、その移動に先立ってホストコンピュータ1から献血者に関するデータの抽出が行われて車載端末2に転送される場合の動作について説明する（図6参照）。

【0026】キーボード105は、作業者の指示により、献血者の抽出条件（移動採血車の移動先である採血場所の地域や職場・団体等を示すコード）を入力する（ステップ601）。なお、作業者は、地域に基づいて抽出するのであれば抽出条件として郵便番号または住所コードを指示し、特定の職場・団体に基いて抽出するのであれば抽出条件として団体コードを入力する。このように、作業者は移動採血車の移動先である採血場所に応じた抽出条件を指定することができる。

【0027】CPU106内の入力データ解析部110は、キーボード105によって入力された抽出条件を識別用データとして制御部109に伝える。

【0028】制御部109はキーボード105より入力された抽出条件をメモリ制御部108に伝え、メモリ制御部108はその抽出条件（識別用データ）を主メモリ115に格納する。

【0029】さらに、制御部109は、抽出条件の内容をデータ検索部111に伝える。

【0030】データ検索部111は、抽出条件の種別を判定する（ステップ602）。

【0031】ステップ602の判定で「抽出条件が団体コード（職場・団体を示すコード）である」場合には、データ検索部111は、献血者マスタファイル101をアクセスするための読出しキーとして団体コードを設定し（ステップ603）、その読出しキーを制御部109を介して読出し指示部107に伝える。

【0032】読出し指示部107は、外部記憶制御部104を介して、その読出しキーに基づき献血者マスタファイル101をアクセスして該当する献血者レコード（その読出しキーで特定される献血者マスタファイル101内のレコード）を読み出す（ステップ608）。

【0033】ステップ602の判定で「抽出条件が地域

に関するコード（郵便番号または住所コード）である」場合には、データ検索部111はその「地域に関するコード」を示す抽出条件が郵便番号であるか否かを判定する（ステップ604）。

【0034】ステップ604の判定で「抽出条件が郵便番号である」場合には、データ検索部111は、住所マスタファイル103をアクセスするための読出しキーとして郵便番号を設定し（ステップ605）、その読出しキーを制御部109を介して読出し指示部107に伝える。

【0035】読出し指示部107は、外部記憶制御部104を介してその読出しキーに基づき住所マスタファイル103をアクセスしてその郵便番号に対応する住所コードを取得し（ステップ606）、制御部109を介してその住所コードをデータ検索部111に伝える。

【0036】ステップ604の判定で「抽出条件が郵便番号でない（抽出条件が住所コードである）」場合またはステップ606の処理が終了した場合には、データ検索部111は献血者マスタファイル101をアクセスするための読出しキーとして住所コード（抽出条件の住所コードまたはステップ606で取得された住所コード）を設定し（ステップ607）、その読出しキーを制御部109を介して読出し指示部107に伝える。

【0037】読出し指示部107は、外部記憶制御部104を介して、その読出しキーに基づき献血者マスタファイル101をアクセスして該当する献血者レコードを読み出す（ステップ608）。

【0038】データ検索部111は、ステップ608における「抽出条件に合致した献血者マスタファイル101内の献血者レコードの読出し」が可能であったか否か（献血者マスタファイル101が終了していなかったかどうか）を判定する（ステップ609）。

【0039】ステップ609の判定で「献血者マスタファイル101が終了していた」場合には、制御部109は献血者抽出処理を終了する。

【0040】ステップ609の判定で「献血者マスタファイル101が終了していなかった」場合には、データ検索部111は、献血履歴マスタファイル102をアクセスするための読出しキーとしてステップ608で読み出された献血者レコード中の献血者コードを設定し（ステップ610）、その読出しキーを制御部109を介して読出し指示部107に伝える。

【0041】読出し指示部107は、外部記憶制御部104を介してその読出しキーに基づき献血履歴マスタファイル102をアクセスしてその読出しキー（献血者コード）に対応する前回献血日等の献血履歴を示す情報を読み出し（ステップ611）、制御部109およびメモリ制御部108を介してその献血履歴を示す情報を主メモリ115に格納する。

【0042】制御部109は、献血者マスタファイル1

01、献血履歴マスタファイル102および住所マスタファイル103から抽出された献血者に関するデータ（ステップ608で読み出された献血者レコードに係る献血者を特定する情報および献血履歴を示す情報等）をデータ編集部112に伝える。

【0043】データ編集部112は、車載端末2内の献血者ファイル201の形式に適合するようにその献血者に関するデータを編集し（ステップ612）、制御部109およびメモリ制御部108を介して編集結果（編集後の献血者に関するデータ）を主メモリ115に格納する。

【0044】制御部109は主メモリ115内の編集結果をデータ転送部113に伝え、データ転送部113はその編集結果（編集後の献血者に関するデータ）を転送制御部114を介して順次車載端末2に転送する（ステップ613）（車載端末2では、転送制御部216等を介して献血者ファイル201に編集後の献血者に関するデータが格納される）。

【0045】このような処理が抽出条件に合致する全ての献血者について繰り返され、抽出条件に合致する全ての献血者に関するデータが車載端末2内の献血者ファイル201に転送される。

【0046】第2に、移動採血車の移動先の採血場所（図8参照）における献血者受け付け業務において献血申込み書が発行される場合の動作について説明する（図7参照）。

【0047】まず、キーボード204は、作業者の指示により、献血者の氏名、性別および生年月日を入力する（ステップ701）。

【0048】CPU206内の入力データ解析部207は、この入力に基づき、氏名、性別および生年月日を献血者ファイル201内のレコードを識別するための識別用データとして認識し、その識別用データを制御部211を介してデータ検索部208に伝える。

【0049】データ検索部208は、献血者ファイル201をアクセスするための読出しキーとして献血者の氏名、性別および生年月日を設定し、その読出しキーを制御部211を介して読出し指示部212に伝える。

【0050】読出し指示部212は、外部記憶制御部203を介して、その読出しキーに基づき献血者ファイル201をアクセスする（ステップ702）。

【0051】さらに、読出し指示部212は、その読出しキーに合致するレコードが献血者ファイル201に存在するか否か（読出しキーに係る献血者が既登録者（献血者マスタファイル101に氏名等が登録されている献血経験者）であるか否か）を判定する（ステップ703）。

【0052】ステップ703の判定で「読出しキーに合致するレコードが献血者ファイル201に存在しない（読出しキーに係る献血者が既登録者でない）」場合に

は、制御部211はデータ表示部209を介してその旨をCRT表示装置205に表示する。

【0053】この表示に基づき、作業者は当該献血者を新規の献血者として認識する。

【0054】キーボード204は、そのような認識をした作業からの指示により、献血申込み書に記入する必要のあるデータ（住所等）を入力する（ステップ705）。

【0055】制御部211は、当該献血者が新規の献血者であるので、主メモリ215に存在する未使用の献血者コードを払い出し（取り出し）（ステップ706）、その献血者コードによって識別されるレコードを献血者ファイル201に登録することを可能にする。

【0056】ステップ703の判定で「読出しキーに合致する献血者レコードが献血者ファイル201に存在する（読出しキーに係る献血者が既登録者である）」場合には、読出し指示部212は、当該献血者に過去に献血履歴があることを認識し、献血者ファイル201内のレコード（その読出しキーに対応するレコード）を読み出し、制御部211に渡す。

【0057】制御部211は、当該レコード中の前回献血履歴等の情報を主メモリ215に格納し、その情報をデータ表示部209に伝える。

【0058】データ表示部209は、その情報をCRT表示装置205上に表示し（ステップ704）、献血者や作業者に対して献血者（既登録者）の検査履歴等を示す情報の確認を促す（ステップ707）。また、データ表示部209は、ステップ705で入力された住所等をCRT表示装置205上に表示し、献血者（既登録者でない者）や作業者に対して住所等の確認を促す（ステップ707）。

【0059】続いて、制御部211は、読出し指示部212および外部記憶制御部203を介して申込み書レイアウトファイル202内の献血申込み書の固定項目のレイアウトを示すデータを読み出す（ステップ708）。

【0060】さらに、制御部211は、そのレイアウトと主メモリ215に保持されているデータ（キーボード204から入力されたデータおよび献血者ファイル201から読み出されたデータ等の献血申込み書に記入すべきデータ。これらのデータは入力時および読出し時等に主メモリ215に格納されているものとする）とをデータ編集部214に伝える。

【0061】データ編集部214は、それらのデータを献血申込み書の形式に編集し（ステップ709）、印刷制御部217に編集後のデータを渡す。

【0062】印刷制御部217は、データ編集部214から渡された編集後のデータに基づき、可能な限りデータが記入された献血申込み書を印刷部218にて印刷する（ステップ710）。これにより、可能な限りデータが記入された献血申込み書が献血者に発行されることに

なる。

【0063】なお、移動採血車が献血センタ等に戻った後に、データ転送部210は移動先で新たに献血者ファイル201内に格納されたデータ（献血者に関するデータ）を転送制御部216に渡し、転送制御部216はそのようなデータをホストコンピュータ1に転送する。

【0064】

【発明の効果】以上説明したように本発明は、移動採血車の移動先の献血場所に応じた献血者に関するデータをあらかじめ抽出条件に基づいて車載端末に転送して車載端末内の献血者ファイルに格納しておくことにより、可能な限りデータが記入された献血申込み書を簡単に発行することができるという効果がある。したがって、従来の第1の方式に比べて、献血申込み書に対する記入の手間を削減することができ、記入ミスによるトラブルの防止等によって献血受付業務の効率化を図ることができるという効果がある。また、従来の第2の方式に比べて、ホストコンピュータ内の献血者に関するデータを取得するための費用や時間を節減することができ、献血受付業務の効率化を図ることができるという効果がある。

【0065】また、献血申込み書の発行に付随して献血者に関するデータの有効利用が移動先の献血場所で可能になることにより、移動採血車での献血時の副作用による危険の防止や移動採血車における献血者の献血回数の実績の把握による表彰制度の適正な運用等が可能になり、献血者に対するきめ細かなサービスを実施することができるという効果もある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例の構成を示すブロック図である。

【図2】図1中のホストコンピュータ内の献血者マスタファイルの構成を示す図である。

【図3】図1中のホストコンピュータ内の献血履歴マスタファイルの構成を示す図である。

【図4】図1中のホストコンピュータ内の住所マスタファイルの構成を示す図である。

【図5】図1中の車載端末内の献血者ファイルの構成を示す図である。

【図6】図1中のホストコンピュータ側で行われる献血者抽出処理を示す流れ図である。

【図7】図1中の車載端末側で行われる献血申込み書発行処理を示す流れ図である。

【図8】移動採血車がホストコンピュータの存在する場所から移動先の採血場所に移動する場合の態様を示す図である。

【符号の説明】

- 1 ホストコンピュータ
- 2 車載端末
- 101 献血者マスタファイル

102 献血履歴マスタファイル
 103 住所マスタファイル
 104 外部記憶制御部
 105 キーボード
 106 CPU
 107 読出し指示部
 108 メモリ制御部
 109 制御部
 110 入力データ解析部
 111 データ検索部
 112 データ編集部
 113 データ転送部
 114 転送制御部
 115 主メモリ
 201 献血者ファイル
 202 申込み書レイアウトファイル

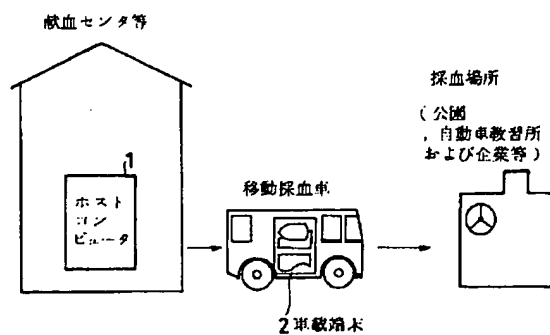
203 外部記憶制御部
 204 キーボード
 205 CRT表示装置
 206 CPU
 207 入力データ解析部
 208 データ検索部
 209 データ表示部
 210 データ転送部
 211 制御部
 212 読出し指示部
 213 メモリ制御部
 214 データ編集部
 215 主メモリ
 216 転送制御部
 217 印刷制御部
 218 印刷部

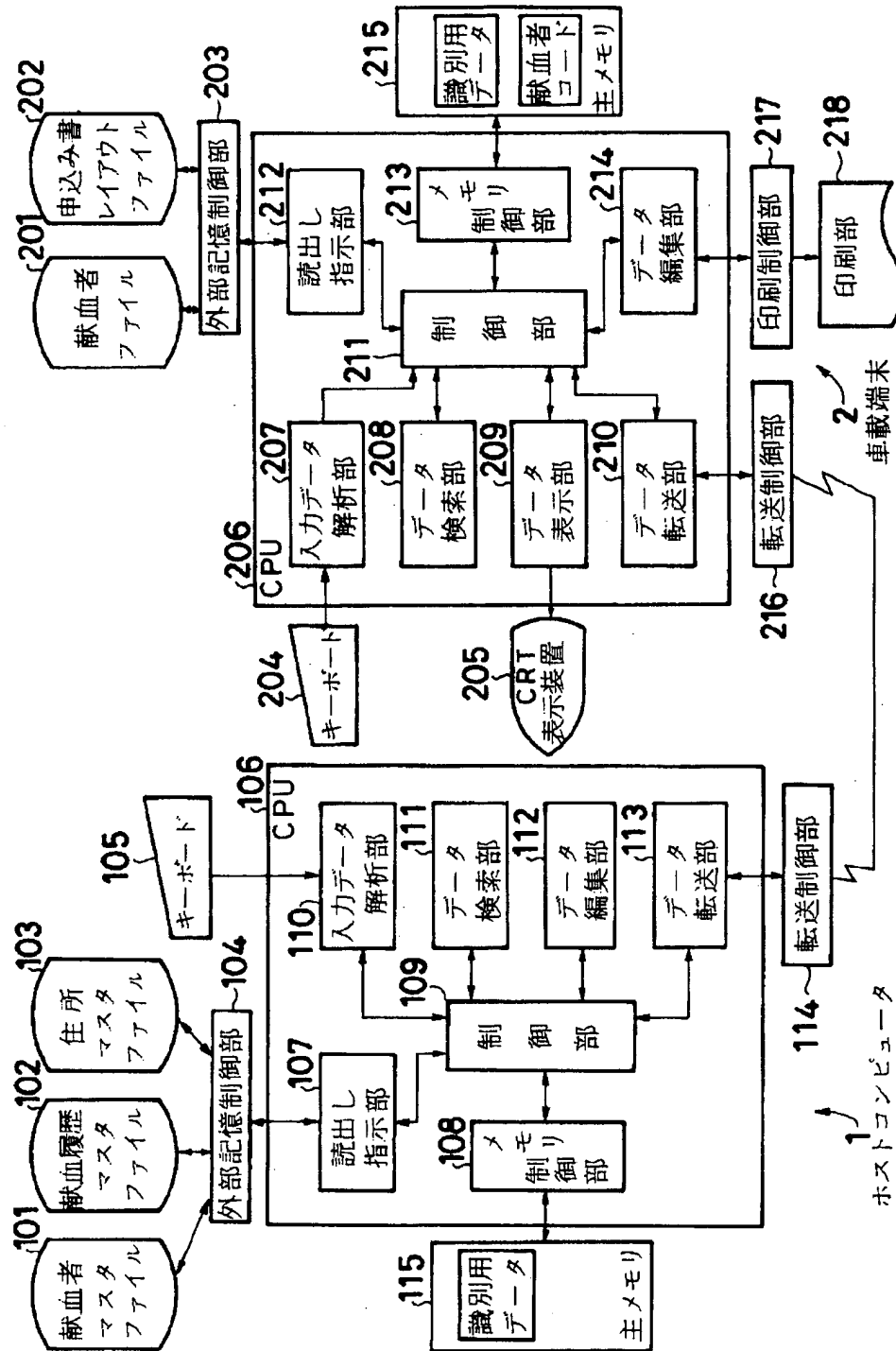
【図2】

101

氏名	性別	生年月日	献血者 コード	住所 コード	住所 所属	団体 コード	既献血回数

【図8】





【図1】

【図3】

102

献血履歴マスタファイル

献血者コード	前回検査履歴		前々回検査履歴	過去の検査履歴
	前回献血日	前回検査結果		

【図4】

103

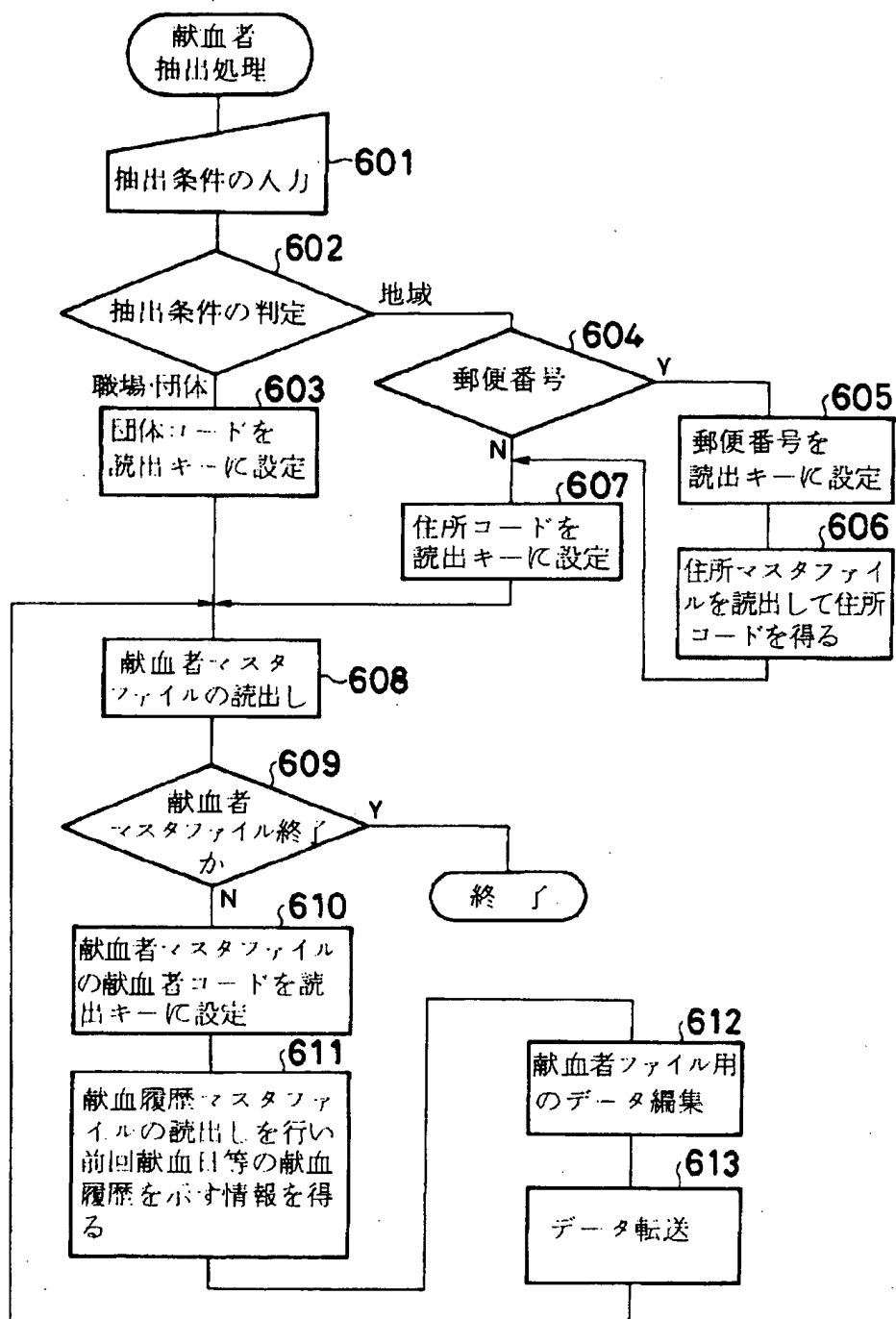
住所マスタファイル

住所コード	住所読み（漢字）	郵便番号	

201

[illegible]

【図6】



【図7】

